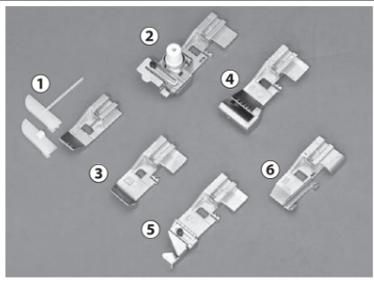


縫いのバリエーションが広がる **アタッチメント(押え金)セット** ご使用のてびき

最初に以下の6個の押え金が入っていることをお確かめください

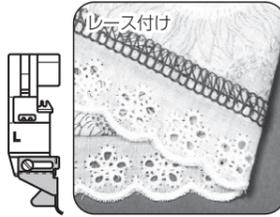
- ①ピンタック押え
- ②ゴム押え(テグス入れ兼用)
- ③パイピング押え5mm用
- ④セパレート押え
- ⑤レース押え
- ⑥ヒース押え



■ レース押え

押え金を『レース押え』に交換することによって、レース付けが簡単にできます。

- 1 1本針3本糸オーバーロックまたは2本針4本糸オーバーロックにします。
- 2 付いている押え金はずして、『レース押え』を取り付けます。
- 3 下図のように、レースを生地の取り付けたい場所に、中表にして置き、縫い合わせます。



**ポイント**  
レースと生地がズれる場合は、下記のように止めネジをゆるめ、ガイドを左右に動かして調整ください。

生地(表) レース 裁断部

ガイド 左右に動かす

- 4 縫い終わって、生地を表側に開けば出来上がりです。

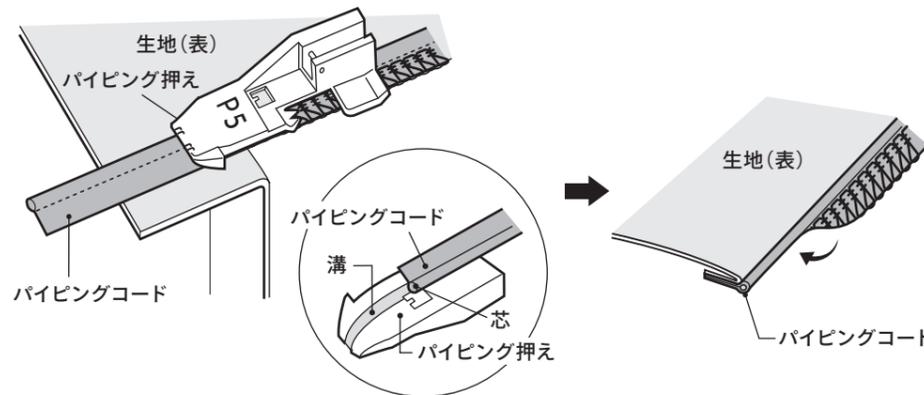
縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2 or O-2	A or B	M	3mm	N	裾や袖口、ポケット口の飾り、カーテンの裾飾りなど	レースを右端を押え金のガイドに沿うように縫う。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

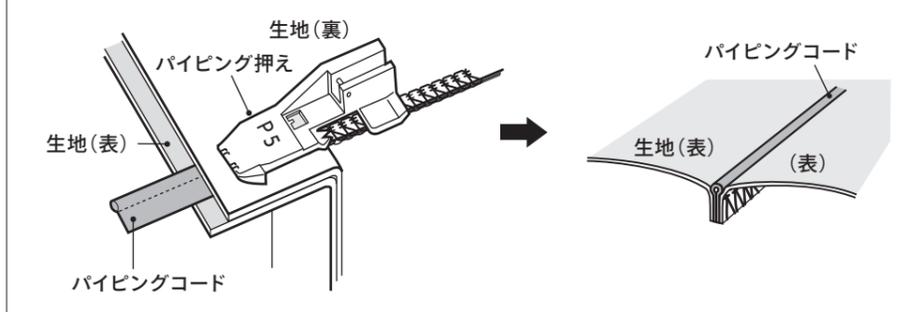
■ パイピング押え

縁かがりと同時に、市販のパイピングコード(芯の太さが5mmのもの)を縫うことができます。

- 1 2本針4本糸オーバーロックで縫います。
- 2 付いている押え金はずして、『パイピング押え』を取り付けます。
- 3 生地を表に『パイピングコード』を下図のように置きます。『パイピング押え』の裏側にある溝に『パイピングコード』の芯が入るようにセットして縫います。



■ 2枚の生地の間に『パイピングコード』をはさみ込む場合は、下記のようにします。

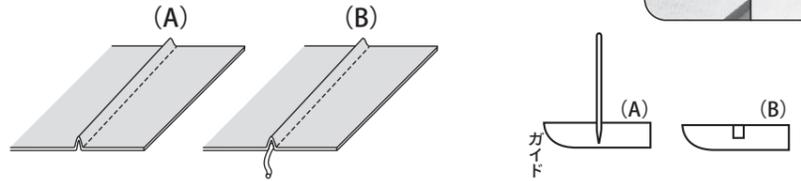


縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2	A	最大	3mm	N	洋服の切り返し、クッション等の飾りとして	筒状のものの終わりはパイピングコードの芯をはずして重ね縫いを行う。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

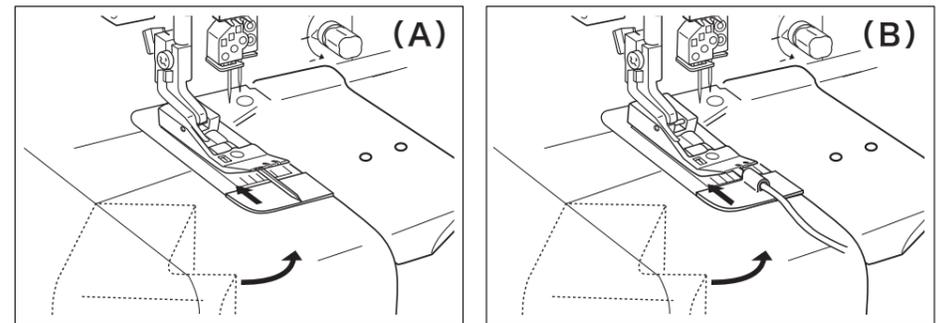
■ ピンタック押え

押え金をピンタック押えに交換することによって、ピンタックが簡単に縫えます。ピンタックにはただ生地を盛り上げる方法(A)と盛り上げた生地の中にヒモを縫い込む方法(B)とがあります。



2本針3本糸カバーステッチで縫います。

- 1 C2とC3に針を取り付けます。
- 2 針を一番下にしてから「カバーステッチ切換レバー」を左側にします。  
※はずみ車を手で回して上ルーバーが固定されたことを必ず確認します。
- 3 メスをLOCK(固定)します。
- 4 メスカバーをチェーン/カバー用テーブルに付け替えます。
- 5 『ピンタック押え』を取り付けます。
- 6 サイドカバーを開け、針板にガイドAまたはBをセットしてから、サイドカバーを閉じます。  
■普通にピンタックをするにはガイドAを使用します。  
■ピンタックの間にヒモを入れる場合はガイドBを使用し、ガイド穴に糸を通しておきます。
- 7 押え金の下まで生地を入れてから縫い始めます。



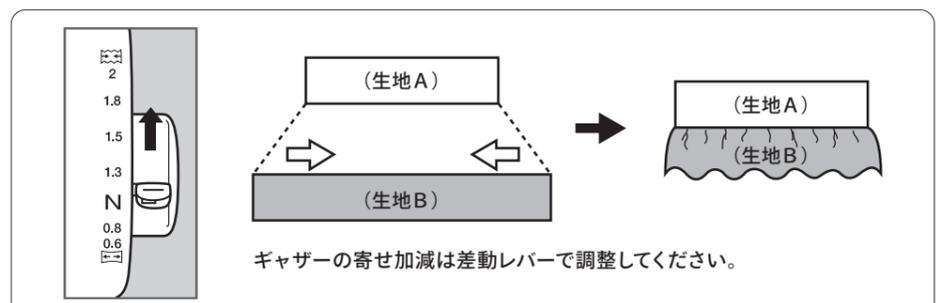
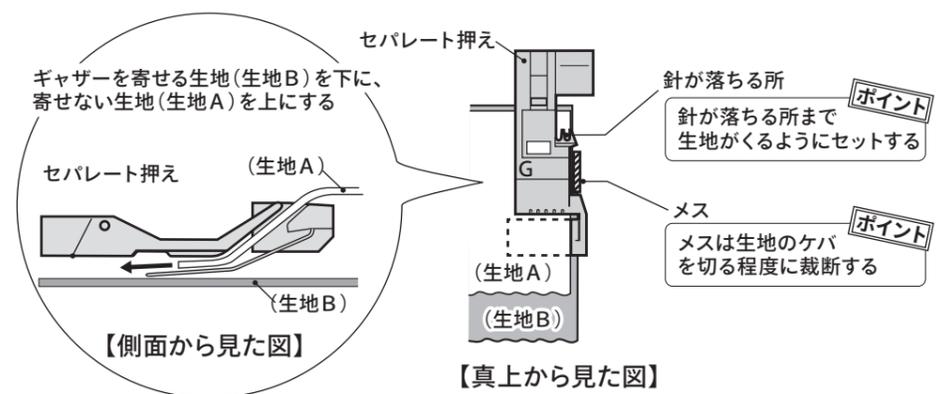
縫い形式	針	メス	チェーン/カバー用テーブル	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
2本針カバーステッチ	C-2 C-3	固定	使用	3mm	N	生地にふくらみ模様を作ることができる	ふくらませる場所に線を引き(あとで消せるもので)、それを目安に縫う。生地によっては多少蛇行する場合があるので、その場合は手でサポートすると良い。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

■ セパレート押え

二枚の生地を縫い合わせる時、片方の生地だけにギャザーを寄せて縫い合わせることができます。生地を引っ張ったりしなくても、差動送りを使って、自然に好みのギャザーを寄せることができるので、ヨークの切替えやティアードスカートの切替え等に使うと便利です。

- 1 2本針4本糸のオーバーロックで縫います。
- 2 付いている押え金はずして、『セパレート押え』を取り付けます。
- 3 送り目を3mmまたは4mmにします。
- 4 押え金を上げてから生地を下図のようにセットします。

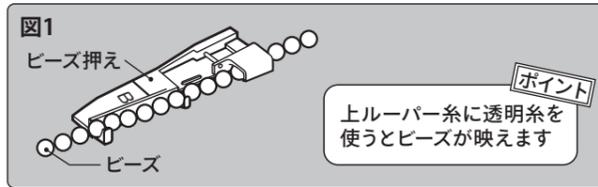


縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2	A	最大	4または3mm	2.0	エプロン等のギャザー、飾り縫い	ギャザーを寄せる方の生地(上図生地B)は、左に逃げやすく、また差動が入りやすいように手でサポートする。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

## ビーズ押え

押え金をビーズ押えに交換することによって、市販しているひも状のビーズ(最大直径4mmまでのもの)やスパンコールを縫い込むことができます。縫い方には生地の上に縫い込む方法(A)と生地の上に縫い込む方法(B)とがあります。

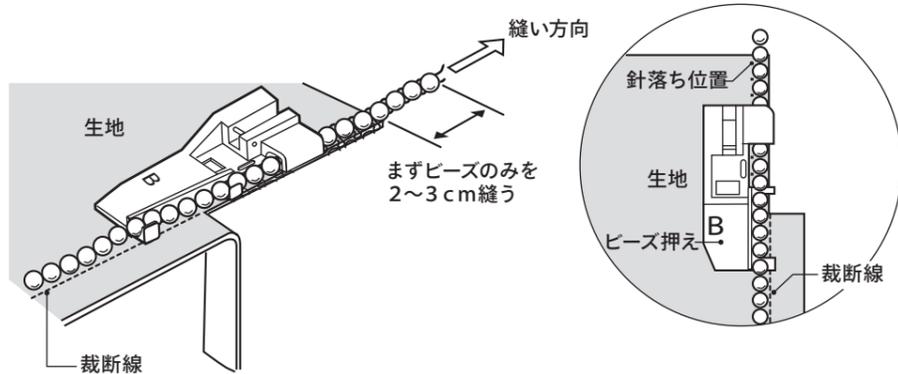
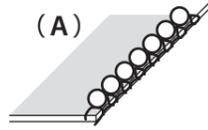


ビーズ付け



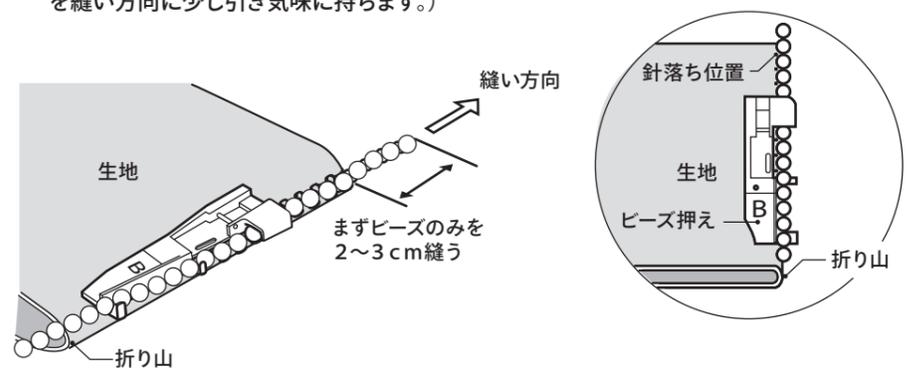
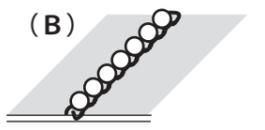
### (A) 生地の上に縫い込む方法

- 1本針3本糸のオーバーロックにします。(右針を使用=切換ダイヤルB)
- 最初に図1のようにして、『ビーズ押え』にビーズをセットします。
- 付いている押え金はずして、ビーズをセットした『ビーズ押え』を取り付けます。
- まずビーズのみをそのまま2~3cm縫います。(ビーズは縫い方向へ少し引き気味に持ちます)
- 次に生地の裁断線をメスに合わせて縫っていきます。(この時も4と同じようにビーズと生地を縫い方向に少し引き気味に持ちます)



### (B) 生地の上に縫い付ける場合

- 1本針2本糸にします。(右針を使用)
- 最初に図1のようにして、『ビーズ押え』にビーズをセットします。
- 付いている押え金はずして、ビーズをセットした『ビーズ押え』を取り付けます。
- メスロックダイヤルで上メスを固定します。
- まずビーズのみをそのまま2~3cm縫います。(ビーズは縫い方向へ少し引き気味に持ちます)
- 生地のビーズを入れたい部分を山折りにし、その山の頭に針が落ちるように縫っていきます。(この時も5と同じようにビーズと生地を縫い方向に少し引き気味に持ちます。)



縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
3本糸ロック	O-2	B	ビーズの大きさに合わせて(4mm以下)	ビーズの大きさに合わせて	N	子供服の飾り、ドレスの飾りとして	ビーズをカットしないように低速でゆっくりと縫う。メスロックをすると縫いやすい。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

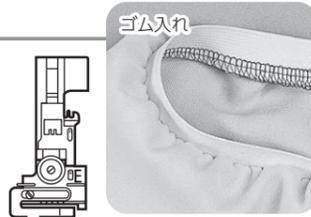
縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
2本糸ロック	O-2	B	ビーズの大きさに合わせて(4mm以下)	ビーズの大きさに合わせて	N	子供服の飾り、ドレスの飾りとして	ビーズをカットしないように低速でゆっくりと縫う。メスロックをすると縫いやすい。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

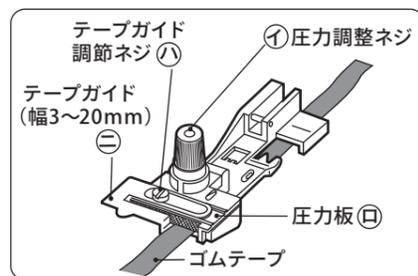
## ゴム押え (テグス入れ兼用) の使い方

### 【ゴムテープの入れ方】

縁かがりと同時に市販のゴムテープを縫い込めます。水着やショーツ作りに便利。

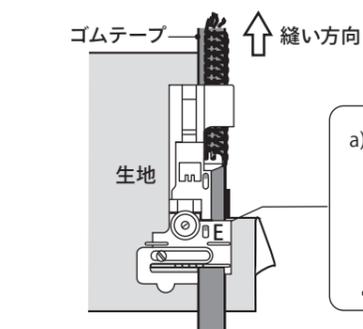
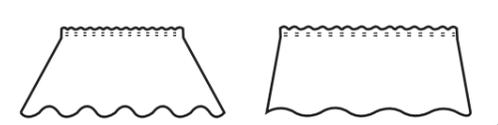


- 2本針4本糸オーバーロックで縫います。(1本針3本糸でも縫うことができますが、その場合はかがり幅を4mm以上にします)
- 『ゴム押え』にゴムテープをセットします。
  - 1) ①をゆるめ、②の下にゴムテープをはさむ。
  - 2) ③をゆるめ、ゴムテープの幅に④をあわせてから⑤を固く締める。
  - 3) 最後に⑥を軽く締める。
- ミシンに付いている押え金を取り外し、『ゴム押え』を取り付けます。
- 最初にゴムテープを2~3針縫い、続いて生地を入れて縫い始めます。



### 《圧力ネジ⑤の調節の仕方》

- 時計方向にまわすと縮み量が多くなる
- 反時計方向にまわすと縮み量が小さくなる



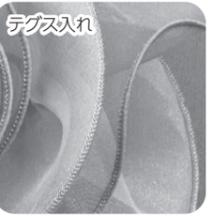
縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2 or O-1	A or B	(ゴム幅に合わせて)	4mm	N	レオタード パチコート等	シャーリングのボリュームは⑤圧力調節ネジで行なう。縫い始めはゴムがくい込みやすく、手を添えて注意する。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

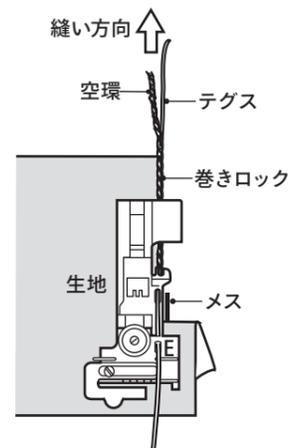
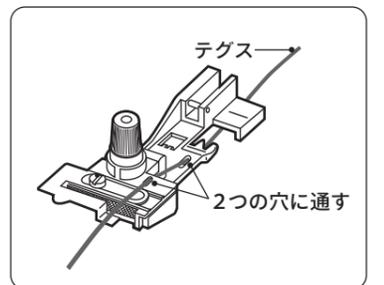
### 【テグスの入れ方】

巻きロックをするときにテグス(釣糸)を縫い込んで、張りをもたせることができます。ウエディングドレスやコサージュ作りに最適です。

テグス入れ



- ミシン本体を巻きロック(1本針3本糸)に切り換えて空縫いし、空環を2~3cm出しておきます。
- 右の図のように『ゴム押え』にテグスをセットします。
- ミシンに付いている押え金を取り外し『ゴム押え』を取り付けます。
- 空環とテグスを縫い方向に軽く引きながら、テグスに糸をからめて2~3cm縫います。
- 空環とテグスを縫い方向に軽く引きながら、テグスに糸をからめて2~3cm縫います。続いて生地を入れて縫い始めます。このとき、テグスと空環は縫い方向へ軽く引っ張っておきます。



縫い形式	針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動送り	作品・用途	操作上の注意とポイント
3本糸ロック	O-2	C or D	M以上	0.75 ~ 1.5mm	N	巻きロック コサージュ ドレスの裾	パイヤスで布地が外れる時はかがり幅M以上で行なう。縫い上がりにムラがある時は中央から手でしごく。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

使い方説明動画を公開中 ※各種設定は本誌をご覧ください。

